

令和5年度 第1回 加美町環境審議会 議事録

日 時：2023(令和5)年10月26日(木) 14:00 ～ 15:30

場 所：加美町役場 第1会議室

委 員：委員長
委員 (8名)

他の出席者：町長
事務局 (地球温暖化対策室)
委託業務受託者

- 内 容：1. 開 会
2. 挨 拶
3. 委嘱状交付
4. 諮 問
5. 議 事
加美町地球温暖化対策実行計画の策定について
(1) 地球温暖化・気候変動対策をめぐる動き
(2) 地球温暖化対策実行計画策定作業
(3) 地球温暖化対策実行計画策定スケジュール
6. そ の 他
7. 閉 会

1. 開会

只今より、加美町環境審議会を開催します。

2. 挨拶

3. 委嘱状交付

4. 諮問

<司会> 今回審議会に求める件につきまして、町長より委員を代表しまして、会長に諮問いたしますのでよろしく願いいたします。

<町長> 加美町環境審議会会長殿、「加美町地球温暖化対策実行計画(事務事業編・区域施策編)の策定について」諮問。標記の件について、加美町環境基本条例第23条第2項第2号の規定に基づき審議会の意見を求めます。

5. 議事<進行 環境審議会会長>

<会長>

私は今、松島の湾のすぐそばに住んでいるのですけれども、今年の夏は異常に暑く、7月の終わりの夕方に水に手を入れましたらお風呂のように暖かくて、今年の夏は暑いと思いました。そういう中でどのように暮らしぶりを作っていくのか、私自身も問われているように感じております。

この加美町は、森と水田と川があって温暖化対策のポテンシャルとしては優れた環境があると承知しております。ぜひ委員の皆様方から日頃から地元にお住まいで感じなっていることをこの会の中でお話をお伺いできればと思いますので何卒よろしく願いいたします。

(1) 審議事項 加美町地球温暖化対策実行計画の策定について

①事務局からの計画策定の趣旨等の説明<事務局>

計画の趣旨について、簡単にご説明いたします。その後に業務受託者から、配布した資料に沿って、地球温暖化対策の現状、これから策定しようとしている地球温暖化対策実行計画の内容について、詳しくご説明します。

まず計画策定の趣旨でございますが、皆様ご存じの通り、地球温暖化による気候変動は深刻で、今年の夏もだいぶ暑い日が続いていました。そして熱中症のリスクも高まっており、大雨などの自然災害も増加している状況でございます。

そういう中で国では2050年カーボンニュートラルという目標を掲げておりますが、町として、地球温暖化についてどのように取り組んでいくかというロードマップがございました。今後、町として目標を掲げ、具体的な施策に取り組み地球温暖化対策を実現していくために、今年度と来年度の2か年で地球温暖化対策実行計画を策定していくこととしております。

2年間の大まかなスケジュールですが、今年度は、温室効果ガス排出量の把握、再生可能エネルギーポテンシャル賦存量調査、地域課題の分析など、現状の分析がメインとなります。2年目の令和6年度は、今年度の結果を踏まえ、脱炭素に向けたシナリオ、目標や具体的な施策などについて検討し、地球温暖化対策実行計画を策定することとしています。

②加美町地球温暖化対策実行計画の策定に関する質疑応答

○委員

資料 19 ページの区域施策編のところ、三ふっ化窒素が挙げられていますが、加美町の中で、この物質の排出源となる工場というのは特定されているのでしょうか。

○受託事業者

資料 19 ページには、「地球温暖化対策の推進に関する法律」（以下「温対法」）で決められている 7 種類を載せています。これから実態把握を行い、三ふっ化窒素これは抜けると思いますけれども、この中で実際把握できるもの、対策の実現可能なものなどを踏まえて、7 種類の中から対象とする物質を選びます。

○委員

CO₂削減の中でいつも頭に浮かんでくるのが、地産地消、食べ物であっても、エネルギーであってもそうなのですが、地元の野菜とかそういう生産物を学校給食にどの程度の量が活用されているのか。車の搬送、いくらでも削減するような方策を徹底的に講じられているか、聞かせて頂きたいと思います。

○会長

きめ細い地域での取り組みを是非調査の中で取材して、あるいは給食への地産の流れなど、そういうものを取り入れて加美町での計画の具体的な形を作って頂く、そのような調査をお願いしたいと思います。

委員からのご質問のあったことで、今お分かりなるところがあればご説明頂き、なければ調査の中で明らかにして頂ければと思います。

○事務局

地産地消ということで、地元の野菜を学校給食にというところですが、既に 3 地区でそれぞれの学校に、取れる野菜を供給して食べて頂くということが行われています。全ての野菜というわけにはいかないのですが、今取れるだけのそれぞれの野菜を供給できる範囲で進めて頂いています。また、地場産給食という日を設けて、なるべく加美町の野菜を食べてもらう、肉を食べてもらうというようなことを産業振興課で行っています。

○委員

田んぼ関係で、一概に有機農法と言ってもなかなかできない。宮崎で完全に有機農法をやっているのはたった一人です。加美町の水田は 6,000 町歩ありますので、6,000 町歩全部でやれというのは不可能ですから、段階的に農薬を使わないというような工夫をしながら、誘導していくための方策が必要ではないのかと思います。町の指導としてどのような考えでおられるのか。

○事務局

有機農業に関しましては、お米は有機部会がございまして、既に行われています。合鴨農法や無農薬、無肥料で米の栽培を行って頂いている農家さんもございます。今後は町として野菜等を産業振興課で検討している段階です。そちらも脱炭素に向けて動いていくと思っています。

○委員

もう4年ほど前から山の木を切ったら植える運動をやっています。200町歩近く実践に入っています。私たちも全部間伐したのですが、八割程度は林業会社と連携しながら植林態勢に入っています。

今後続けられる人がいれば委ねられるが、林業関係の脆弱化や低廉によって、なかなか継ぐ人がいない。どの程度、植林など再造林をして、町有地の土地に植林されているのか。その数値が分かるのであれば聞かせて頂きたいと思います。

○事務局

木のお話しの部分につきましては、私共のほうでも資料のほう持ち合わせてございませんので、また次回にお答えさせて頂きたいと思います。

○委員

エネルギー関係の説明がなかったので、加美町では既に取り組んでいる発電関係もありますし、今後メタンガス、畜産の廃棄物を採用したような大きいメタンガスを活用したような発電関係、太陽光発電、そして今回町長選挙の焦点にもなった風力発電、加美町は風に恵まれているところですから風の資源を再利用するような風力関係は、まったくゼロにはできないと思います。今回の計画の中にエネルギー関係として、謳って頂ければという私からの要望です。

○会長

関心の高い分野であったと思いますので、町の色々な意見、色々な層の情報を集めて、調査の中で整理して頂き、そして議論のある所はこの審議会でも意見をお互い言ってまとめる方向で取り扱えるように、情報収集整理について丁寧をお願いしたいと思います。

○委員

これからの計画ですので言い切れませんが、初めて知ったのは資料30ページの政府の実行計画の中で太陽光発電ということになっているのですが、我が地域の特色であります風力問題ですけども、やはりCO₂排出については決して無視できない実態があるのではないかと思います。国で言っている太陽光のみならず、地域の特色としての風力という問題も加味する必要があるのではないかと思います。如何でしょうか。

○会長

ご指摘の通り、太陽光発電についても、あるいは原子力発電についてもライフサイクルアセスメントの観点で言えば、例えば原子力発電所は温排水の影響というのはどれくらい勘案することが適当なのかどうか、太陽光発電も最終的なパネルの処理、そこに投下されるエネルギーなどを考えたときに、どのようなエネルギーが再生可能エネルギーであって、加美町ではどのような再生可能エネルギーの取扱いが良いのか、またそのことについての景観上の配慮ですとか、生態系、生物多様性への配慮ですとかを勘案して情報収集整理をお願いしたいと思います。

もし、今お応えできる部分があれば、ご用意されているものがあればお願いしますが、基本的にはこれからの調査に委ねるところかと思うのですが、如何でしょうか。特によろしいですか。

それでは、委員からの重要な指摘をたずさえて調査にあたって、先ほどの委員からのご指摘も合わせてお願いしたいと思います。

○委員

この計画書の中で、地域活性化、人口減少、産業振興とあるのですが、自然現象的なものによってCO₂の削減に繋がる部分もあると思います。加美町は2040年は18,000人の人口の見込みです。2060年は8,000人です。そうすると自然的にCO₂削減になっていく部分もあるのではないのか、データとして今後出して頂ければと思います。自然的に減少する部分もあるのではないかという部分です。

○会長

人口減少については、色々な自治体がこういう計画を作る時に、どちらかというとそのそれほど人口が減らないような古いデータをベースにして計画を作るケースもあるのですが、今の少子高齢化、特に人口減少というのは厳然たる事実なので、それを勘案しての厳選した見通しを明らかにして頂くことが大事だと思います。

○委員

資料18ページに関連するのですが、ここでは載ってないのですが、今後加美町の区域では場整備をしようとする、例えば県営ほ場整備をやる区域があった場合に、こういう関係もあるいは加味されるようになるのではないのかと思います。

こういうのに該当するのにかによって、ほ場整備事業の再委託にも繋がっていく部分も出ると思うのですが、計画書では漏れなく、ほ場整備が始まって色々なことが出た場合にも対応できるような考え方で、残地が出た場合には太陽光用地として売却するなどして、再区画をやる仕組み、もしくは事業費負担をゼロにもっていくような、そういう施策に繋がるような計画書であってほしいと思います。地域の活性化に繋がっていく内容だと思いますので、加味して頂ければと思います。

○会長

気候変動対応は、土地改良事業でも取り組む必要性があります。今ご指摘の土地改良事業、ほ場整備についても、国の補助、県の事業として、あるいはこの町で施行する場合の取り組み、きめ細かい視点で取材して頂きたいと思います。

○委員

資料28ページの事務事業の削減関係に繋がる内容ですが、例えば、紙であれば、書いたりしてダメになったらポイポイ捨てる、再利用してまた使ったり、今度また捨てる。捨てれば、焼却場で燃やす、それがCO₂の増加に繋がります。

町全体として太陽光だけではなくて、ペーパーレスのような考え方もアイデアをもっていなければならない。そうした場合に役場の職員がペーパーレスに取り組んでも、私のような一般住民がペーパーに慣らされるとなかなか進捗度が高まらないので、住民への対応の仕方も併せて考えていく必要があるのではないかと思います。

○会長

徳島県の町ですけれども、ごみを一切出さない自治体というのがあり、たしか四十数種類にごみを分別して、全体的なエネルギーコストを削減する自治体もあります。加美町でも取り組めるのかという問題提起というものもあるのかもしれないので、色々なアイデアを加えた調査案をお作り頂きたいと思います。

○委員

徳島のお話を伺って思ったのですが、家庭部門の数値というのは、色々な業界の数値と一緒にあって、その中で表されています。実行計画を策定する際は、私のような一般人、意識の低い者へ計画策定というものを知ってもらうために、運輸業や産業関係とは別な取り組みが必要じゃないかと思いました。

○会長

ご指摘は、計画の中でどのような章立てになるのかということでもありますが、家庭向けに分かりやすい、家庭で取り組める、具体的に取り組みやすいメニューというのはどういうものなのか、それがどういう効果を持つ可能性があるのかを記載してもらえると、その作業に一人一人が入りやすいと思います。

○委員

毎日のごみの取扱い一つにしても、家庭の中を管理している者にとっては、面倒くさくなると全部一緒になってしまう。色々な業務の方々は、きちんとやると思うのですが、家庭では面倒なことはしない、今は終活というのも話題になって捨てる方も多と思うのですけれども、家庭のほうは要領とかちょっと違うのかなと思います。

○事務局

資料を見ると住民に関する記載があまりありません。今まで産業部門や国全体の話など、地域課題を解決しよう、農業をどうする、お金の流れをどうするかが中心でした。昔は住民の取り組みもありました。エアコンは28℃にしよう、背広はクールビズにしようなど、ところが50%削減するというときに背広をクールビズにした程度では間にあわないと議論がありました。ところが最近住民が変わらないと、役所や企業が変わっても、役場というのはこの例で行くと11%にしかすぎませんので役場が頑張っても限界があります。

そこでデコ活とって、デコというのは脱炭素の意味ですが、やはり住民の人が一人一人ちょっと変わっていこう、ごみの話とか給湯器の話とか色々、無駄な物を買わないようにしようなど、大崎広域の3きり運動もやっているのですけれども、そういった運動もじつは国の計画ではあまり書いていません。市町村なのでそういう計画も皆様のご意見を頂きながら入れていければと思います。

③今後のスケジュール<事務局>

本日は計画策定について、第1回を行いました。今年度もう1回の開催を考えております。内容としましては、今年度の調査分析をとりまとめた結果を皆様にご報告したいと思います。時期については、12月頃を考えておりますが、日程については、改めて皆様にお知らせしたいと思っております。

また、来年度も、何回か開催したいと思っておりますので引き続きお願いいたします。

6. その他

○事務局

環境審議会の委員は15名以内となっております。必要に応じて、地球温暖化に知見のある国、県の方、事業者の方など、委員を加えることにつきまして、小沢会長と相談しながら検討してい

きたいと思っております。

○会長

議事の一切はこれで終了ということで、司会のほうにお返しします。

7. 閉会<事務局 >

今年度の第1回加美町環境審議会を以上で閉会します。大変ご苦勞様でございました。

閉会